

はじめに

福島第一の廃炉に向けた作業にご尽力いただき、ありがとうございます。また、この度はお忙しい中、労働環境改善に関するアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。今回のアンケートでは皆さまの現在の労働環境に対する受け止めや、更なる改善要望、ご意見を数多くいただきました。ご意見・ご要望の内容と、今後の改善の方向性などをまとめましたのでお知らせいたします。

■ アンケート実施方法 ■

対 象：福島第一の作業に従事する全ての方
(東電社員を除く)
方 法：無記名式
期 間：2025年8月28日～9月12日
回答者数：5,623人 (5,728部配布, 回収率98.1%)

アンケート結果の概要

全体概要

今回のアンケート結果における主なポイントは以下のとおりです。

- 主要な各設問で良好な評価の回答の割合が増加しました。これまで作業員の皆さまからいただいたご意見に可能な限りお応えするために、実施可能な対応方法や代替策を検討し設備や環境の改善に計画的に取り組んできたことが今回の結果に表れたものと考えています。
- また「問5 放射線に対する不安について」は76.6%の方々が放射線に対する不安が「ない」「ほとんどない」と回答され、前回より+16.9%となり、昨年を除く過去5か年平均と同水準（70%台）となりました。本問については、前回のアンケートでは、2023年に発生した身体汚染に係わる事例等が一因となり数値が低下した可能性が考えられましたが、その後、作業点検による安全の確保・向上への取り組みや、専門家を講師に迎えた教育講習会開催による放射線の健康影響についての理解促進の取り組み等により今回の評価に繋がったものと考えています。
- 引き続き、作業員の皆さまからのご意見を踏まえ、労働環境の改善に向け取り組んでまいります。

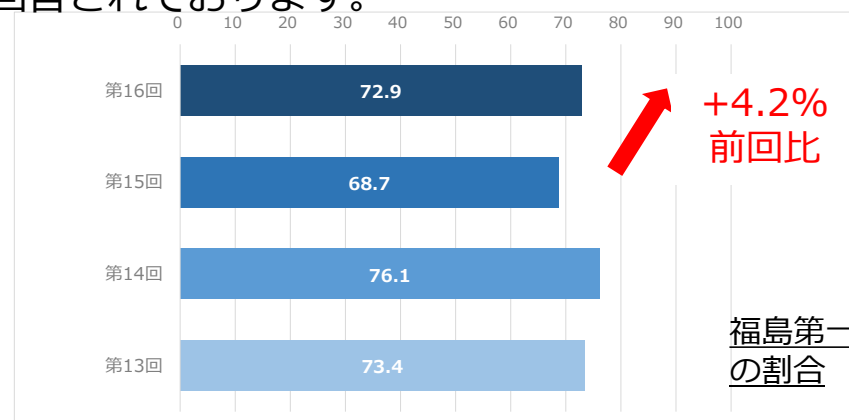
現在の労働環境、現場作業中の気づき等に対する評価（問1～3）

- 「福島第一の共用施設（例：共用道路、共用駐車場、入退域管理施設、救急医療室（ER）など）について、安全や衛生・健康管理の観点からの満足度」をお伺いしたところ、56.5%の方々に「満足」、「まあ満足」と評価をいただきました。
- 「休憩所の快適さについて」お伺いしたところ、72.0%の方々に「快適と感じる」、「まあ快適と感じる」と評価をいただきました。
- 「現場作業中の気づき等について」におきましては、「立ち止まる」の認知については、98.9%の方々が「知っている」、「聞いたことがある」と評価、「気づき」を言える環境の是非は、88.6%の方々が「思う」、「まあそう思う」と評価、安全意識の向上有無は、93.7%の方々が「大いに向上している」、「多少向上している」と評価をそれぞれいただきました。

福島第一で働くことへの不安について

（問4）

- 72.9%の方々が福島第一で働くことに対して「不安を感じていない」と回答されております。

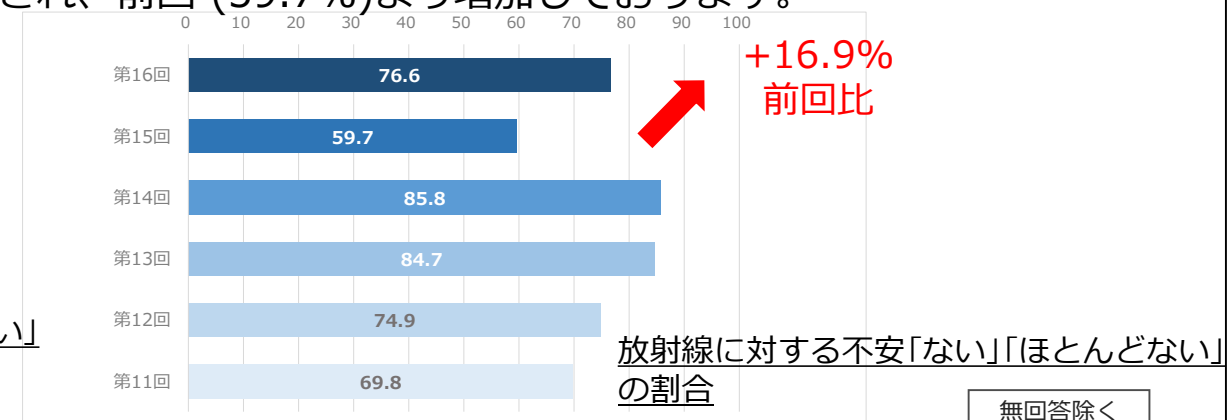


無回答除く

放射線に対する不安について

（問5）

- 76.6%の方々が放射線に対する不安が「ない」「ほとんどない」と回答され、前回 (59.7%)より増加しております。



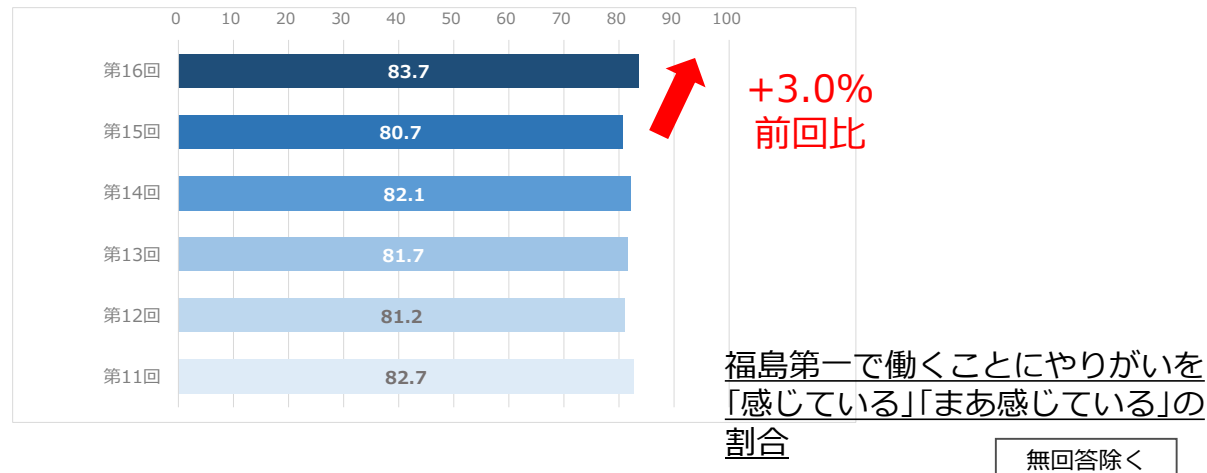
無回答除く

アンケート結果の概要(つづき)

やりがいについて

(問6)

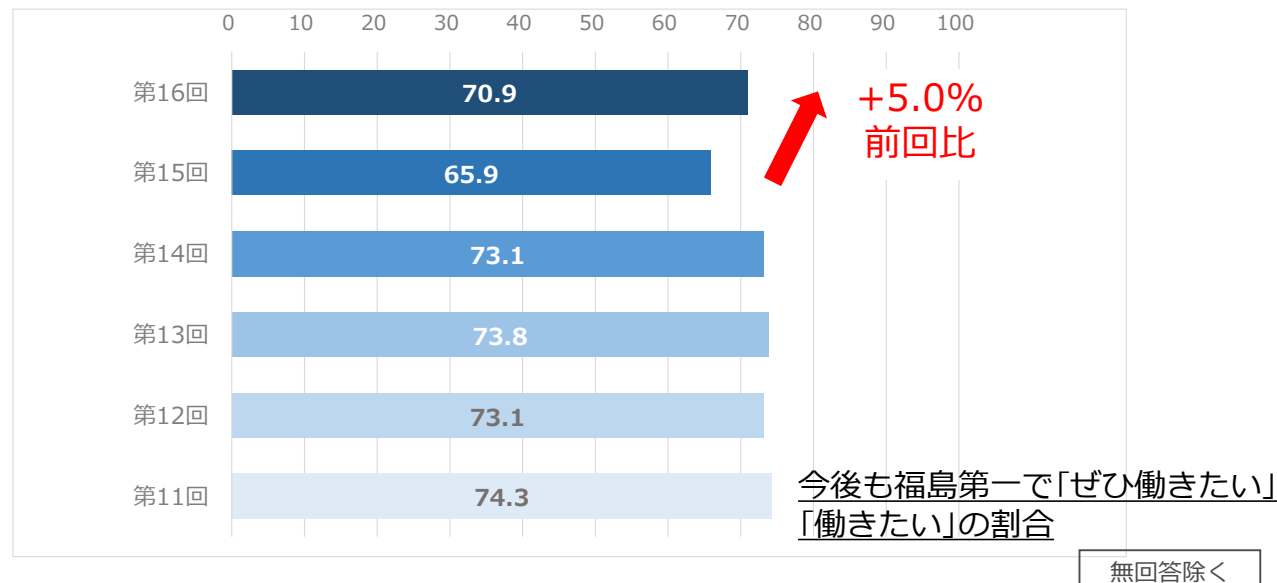
○83.7%の方々が福島第一で働くことに対して「やりがいを感じている」「まあ感じている」と回答されております。



就労希望について

(問7)

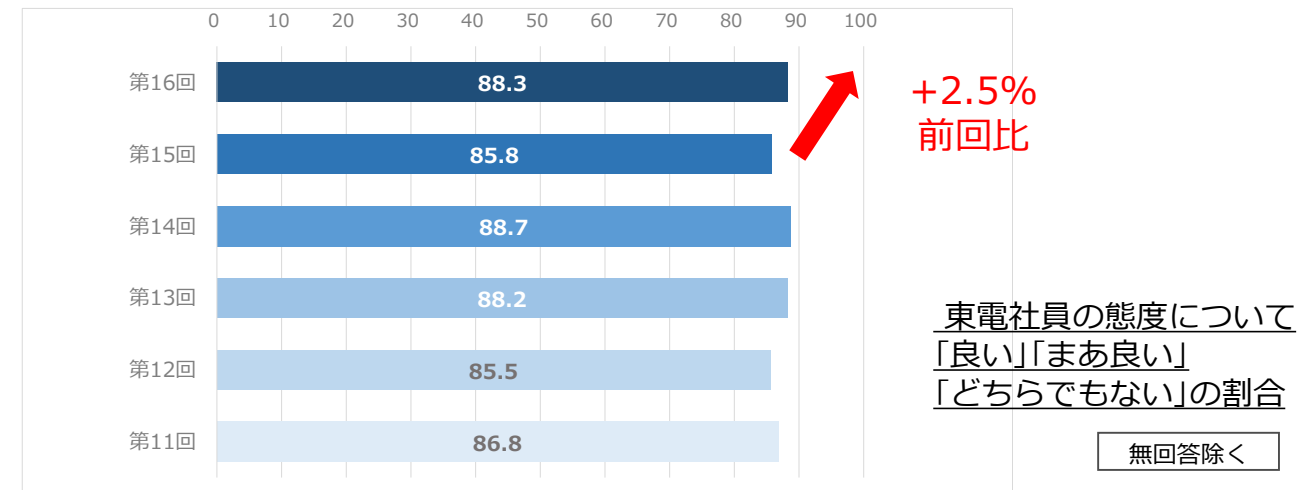
○70.9%の方々が福島第一での就労希望に対して「ぜひ働きたい」「働きたい」と回答され、前回(65.9%)よりやや増加しております。



東電社員の態度/作業員同士の挨拶について

(問9)

○東電社員の態度に対しては、88.3%の方々が不満を感じていないと回答されており、前回(85.8%)よりやや増加しております。



○福島第一において、93.7%の方々が、同じ環境の中で働く皆さまに対し、お互いを尊重しあいさつをしていると回答しております。

廃炉関連等の情報入手等について

(問10)

○廃炉作業の進捗状況やトラブル等の情報の入手については、28.2%の方々が「テレビ」と回答しており、次いで「所属する企業からの情報」、「東電からの情報」、「インターネットニュース等」と回答されております。

就労実態について

- 労務管理に関するご意見につきましては、回答される作業員の皆さまの個人情報を守秘されることが最も重要と考え、回答しやすい仕組みとして、またアンケートの実施期間に限定されず年間を通していつでもご意見をお寄せいただきやすくなる仕組みとして、法令関係パンフレット付属のハガキに記載・投函いただく方法としております。
- 就労形態に関する個別の相談については、18～20頁で相談窓口をご案内しております。また、アンケート同封の法令関係パンフレットでもご案内がございますので、ご確認ください。

その他

- 今後も、福島第一の施設環境変化を把握するとともに、アンケート結果やエコーへのご意見の内容など、皆さまからのご意見・ご要望にしっかりと耳を傾け、労働環境改善に努め、「安心して働きやすい職場」作りに取り組んでまいります。

・

問1

福島第一原子力発電所共用部の不安全箇所について

アンケート項目・結果

問1 福島第一原子力発電所構内・構外で働く際にご使用いただく共用施設（例：共用道路、共用駐車場、入退域管理施設、救急医療室（ER）など）について、安全や衛生・健康管理の観点から、満足されていますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	満足		918	16.5
2	まあ満足		2,221	40.0
3	どちらでもない		1,559	28.0
4	やや満足ではない		539	9.7
5	満足ではない		322	5.8
	集計総数		5,559	100.0

※四捨五入の関係で、合計が100%とならないことがあります(以下同じ)

結果の総括

○56.5%の方々が「満足」「まあ満足」と回答されている一方で、15.5%の方々が「やや満足ではない」「満足ではない」と回答されています。

<作業員の皆さまへのお知らせ>

○日頃の現場管理や元請企業からのご要望などに基づき、以下の通り安全・衛生・健康管理に関する改善に努めておりますが、問題と感じられる箇所がございましたら、当社や元請企業への相談、エコーボックスへの投書をお願いいたします。
引き続き作業環境の改善を実施してまいります。

<対策実施・計画について>

・「トイレやエアコンの故障」について

→不具合連絡をいただいた都度、修理を発注しております。
不具合内容により、納期・除染要否が変わるため復旧が前後する可能性がございます。
修理完了まで、もう少々お待ちください。

・「駐車場の不足」「動かない車両の撤去」等について

→構内の不稼働車両については、計画的に撤去を進めております。
さくら通り、免震棟前駐車場を始め、順次不稼働車両の移動を実施しております。さくら通り駐車場については一部大型車を除き今年度に移動完了予定です。
また、構外の砂利敷きエリアで運用を予定している駐車場の早期の利用開始等、引き続き計画的に取り組みを進めてまいります。

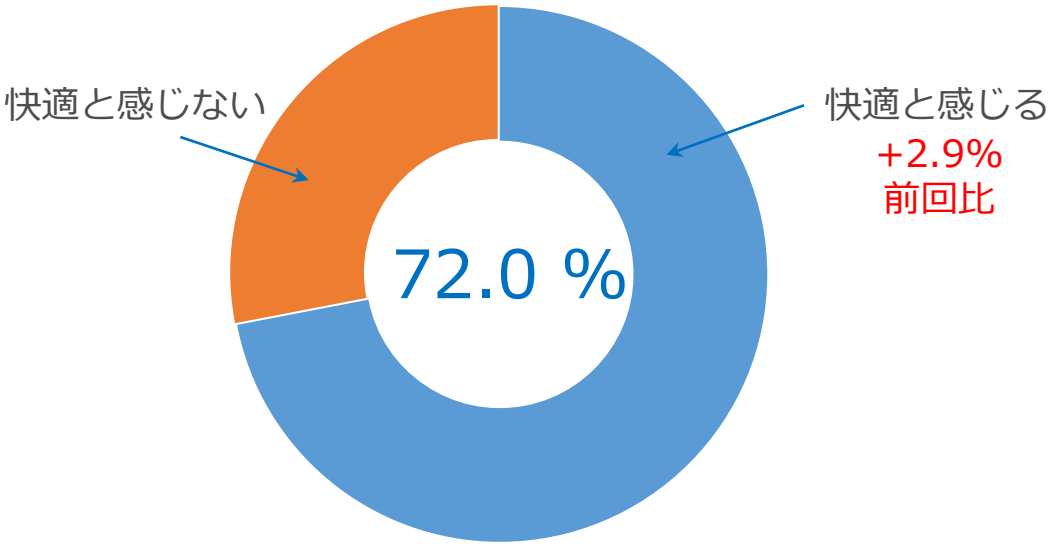
・「道路の白線が見づらい」「標識を設置して欲しい」について

→道路の白線引きや看板設置については従来順次進めておりますが、今回ご意見をいただいた箇所についても合わせて各所の調査を実施し、対策の検討・計画・実施に取り組んでまいります。

アンケート項目・結果の総括

問2 東京電力では、作業員の皆さまの休憩所の整備を進めています。
あなたがお使いの休憩所の快適さはいかがでしょう。

＜作業員の皆さまへのお知らせ＞



- 以前から計画していたとおり、旧企業センター(A棟・B棟休憩所 周辺)の未整備建物を休憩所として順次整備してまいります。また、一時的なご利用の際は、共用の休憩所もございますのでご利用ください。
- 休憩所の騒音などのマナーについては、毎月開催している「休憩 エリア調整会」などでいただいた意見を元請企業と共有すると共に、マナー徹底を依頼いたしますので、引き続きご協力よろしく お願いいたします。
- 企業ごとの割当の休憩所につきましては、割当の企業（元請企 業）に管理をお願いしておりますので、当該エリアの課題につい ては、元請企業にご相談ください。

問2-1 「あまり快適ではない」、「快適ではない」とお答えの休憩所の場所はどこですか。
また、理由は何ですか。

n 数	大型休憩所 267	協力企業棟 1 階 117	5・6 号サービス建屋 128	事務本館 2 階 110	旧登録センター 297	企業棟A棟 165	企業棟B棟 157	左記以外の構内休憩所 208
第 1 位	周りが騒がしい 40.1	周りが騒がしい 46.2	狭い 53.1	空調の効きが悪い 47.3	狭い 59.6	狭い 49.1	狭い 81.5	狭い 53.8
第 2 位	狭い 39.0	床が堅く休憩できない 38.5	周りが騒がしい 35.9	狭い 40.9	空調の効きが悪い 35.4	周りが騒がしい 44.8	周りが騒がしい 34.4	トイレが少ない 32.2
第 3 位	空調の効きが悪い 31.1	その他 22.2	床が堅く休憩できない 21.1	トイレが少ない 38.2	周りが騒がしい 30.6	空調の効きが悪い 20.6	床が堅く休憩できない 18.5	空調の効きが悪い 30.3
第 4 位	喫煙所が狭い 18.4	狭い 17.9	その他 20.3	床が堅く休憩できない 18.2	トイレが少ない 28.3	その他 18.2	喫煙所が狭い 10.8	周りが騒がしい 25.5
第 5 位	床が堅く休憩できない 17.2	喫煙所が狭い 15.4	トイレが少ない 19.5	周りが騒がしい 17.3	床が堅く休憩できない 20.9	床が堅く休憩できない 17.0	空調の効きが悪い 7.6	床が堅く休憩できない 19.7

アンケート項目・結果の総括

問3-1 「何かあったら立ち止まる」、「気がついたことは声に出して伝える」ことを知っていますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	知っている		5,203	93.1
2	聞いたことがある		326	5.8
3	知らない		51	0.9
4	その他		8	0.1
	集計総数		5,588	100.0

問3-2 気づいたことなどをいつでも言える環境が続いていると思いますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	思う		3,008	53.9
2	まあそう思う		1,935	34.7
3	どちらともいえない		497	8.9
4	あまりそう思わない		91	1.6
5	思わない		47	0.8
	集計総数		5,578	100.0

問3-3 作業点検を実施した後、安全最優先の意識の向上はありましたか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	大いに向上している		2,807	50.5
2	多少向上している		2,401	43.2
3	変わらない		324	5.8
4	その他		26	0.5
	集計総数		5,558	100.0

＜作業員の皆さまへのお知らせ＞

- 2025年第一、第二四半期のデータでは、昨年度に比べ人身災害や現場作業・操作ミスなどの人が関わるエラーや災害が減少傾向にあります。
- これらは、作業点検や事前検討会などの地道な取り組みを実践された皆さまの高い安全意識により実現されたものであり、たいへん感謝申し上げます。
- 作業エリアや作業対象の危険源を抽出して、それに基づくリスクシナリオを想定し、防護対策を検討していただくリスクアセスメント(作業点検)は、作業員のみなさまの全員参加で今後も継続して実施していただき、安全・品質向上に努めていただきますよう、お願いいたします。
- また、今年9月より1Fで作業される方に向けた危険意識を高める研修も開始しており、こちらの研修受講についても積極的にご参加いただけますようお願いいたします。
- ただし、全てのリスクを抽出することは難しく、想定外の事象が発生する可能性があります。従って、「いつもと様子が違う」「何かおかしい」などの違和感を感じたら“立ち止まる”、“気がついたことを声に出して伝える”ことで、リスクの顕在化を防いでいただきたいと思います。
- 現場の危険源を全ての関係者で拾い出し、防護対策を検討することと、何かあったら立ち止まることの励行により、福島第一における作業安全を確保できるものと考えておりますので、ご協力お願いいたします。

アンケート項目・結果

あなた及びご家族方の不安についてお尋ねします。

問4 福島第一原子力発電所で働くことに不安を感じていますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	不安を感じていない		4,055	72.9
2	不安を感じている		1,504	27.1
	集計総数		5,559	100.0

問4-1 不安を感じている理由は何ですか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	被ばくによる健康への影響		739	25.4
2	現場での事故、ケガ、熱中症		598	20.5
3	将来の工事量が見えないため、いつまで働けるかわからない		496	17.0
4	安定的な収入が保証されない		471	16.2
5	震災時のような事故があるのではないか		290	9.9
6	福島第一で働くことに対する世間からの評判		250	8.6
7	その他		71	2.4
	集計総数		2,915	100.0

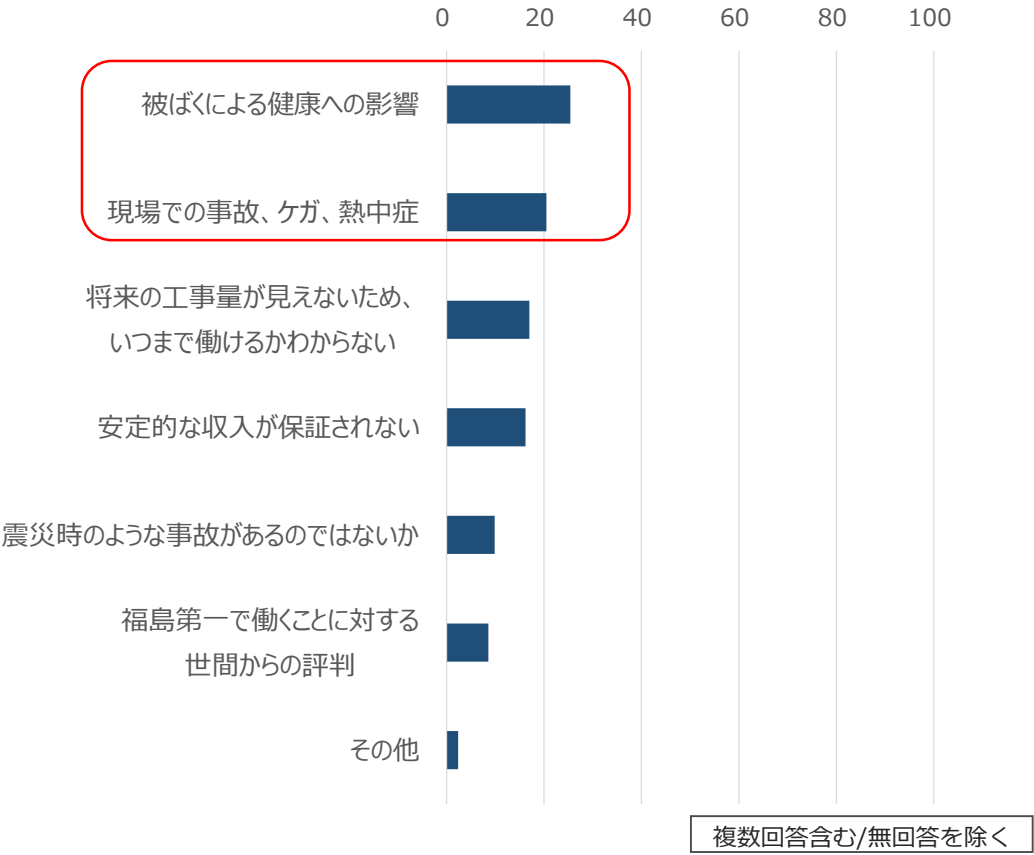
＜作業員の皆さまへのお知らせ＞

- これまでも、被ばく対策、作業安全については作業計画段階から元請企業とともに検討し、安全確保に努めております。今後も作業員の皆さまの被ばく対策や装備面での負荷軽減を図るべく、放射線管理仕様書の遵守徹底をお願いしつつ防護装備の適正化を実施するとともに、高線量エリアでの被ばく低減対策を検討・実施してまいります。
- 様々な線量低減対策により、徐々に現場環境は改善されてきておりますが、一方で、被ばくによる健康への影響について不安を感じている方がいらっしゃいます。今後も研修の機会等を通じて、放射線や線量について、最新かつ正確な知見、情報等をお伝えすること等により、作業員の皆さまが安全で安心して作業できるような環境作りに取り組んでまいります。

結果の総括

- 72.9%の方々が「不安を感じていない」と回答されている一方で、27.1%の方々が「不安を感じている」と回答されています。
- 不安を感じている理由の回答総数(複数回答)は約2900件で、昨年と比べ500件ほど減少しています。それら不安を感じる理由のうち、「被ばくによる健康への影響」「現場での事故、ケガ、熱中症」「将来の工事量が見えないためいつまで働けるかわからない」「安定的な収入が保証されない」が回答数の上位4件となっています。
- ※「被ばくによる健康への影響」に関しては「問5 放射線に対する不安について」を、「将来の工事量が見えないためいつまで働けるかわからない」「安定的な収入が保証されない」に関しては、「問7 就労希望について」を合わせてご覧ください。

福島第一で働くことに不安を感じている理由



アンケート項目・結果

放射線に対する不安についてお尋ねします。

問5 作業するうえで放射線に対する不安はありますか。

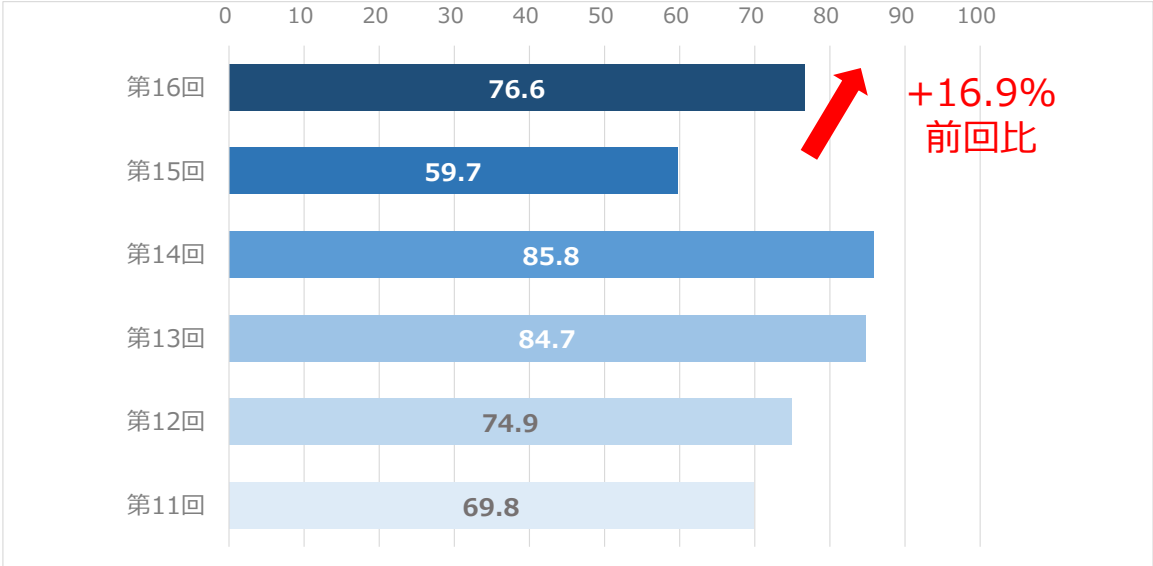
No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	ない		1,812	34.0
2	ほとんどない		2,269	42.6
3	多少ある		1,004	18.8
4	ある		242	4.5
集計総数			5,327	100.0

問5-1 放射線や汚染に対してどのような不安がありますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	被ばくによる健康への影響がないか不安		742	31.3
2	作業以外で知らないうちに身体汚染しないか不安		445	18.8
3	特に原因は思い当たらないが、何となく不安を感じる		290	12.2
4	防護装備の着脱時等にうっかり身体汚染しないか不安		284	12.0
5	防護装備が不十分なことにより汚染しないか不安		217	9.2
6	線量限度の超過で1F構内での作業が制限される不安		174	7.3
7	マスクのずれ等で汚染を体内に取り込まないか不安		174	7.3
8	その他		43	1.8
集計総数			2,369	100.0

結果の総括

○放射線に対する不安が「ない」「ほとんどない」と回答された方々が76.6%と前回(59.7%)から増加しました。



放射線に対する不安「ない」「ほとんどない」の割合

無回答除く

<作業員の皆さまへのお知らせ>

- 前回アンケート(2024年9月～10月)と比較し、放射線に対する不安が「ない」「ほとんどない」と回答された方が増加しました。
- この理由については、前回のアンケートは2023年10月に発生した増設ALPS建屋での身体汚染や、2024年2月に発生した高温焼却炉建屋東側壁面からの放射性物質を含む水の漏えい等の事案発生が影響した可能性が考えられます。
- 今後も作業員の皆さまに安心して作業いただくには、このようなトラブルの発生を徹底し、防止することが肝要と考えております。
- このため、引き続き作業点検による、放射線防護を含めたリスク要因の抽出や、防護措置の妥当性の点検等により、現場作業の安全レベルのさらなる底上げに努めてまいります。
- 被ばくによる健康への影響について不安を感じている方や、作業以外で知らないうちに身体汚染していないか不安等を感じている方がいらっしゃいます。今後も作業点検による安全の確保・向上への取り組みに加え、教育講習会等による放射線の健康影響についての理解促進の取り組み等を通じて、放射線や線量についての知見・情報等を正しくお伝えすること等により、作業員の皆さまが安全で安心して作業できるような環境作りに取り組んでまいります。

アンケート項目・結果

働くことのやりがいについてお尋ねします。

問6 福島第一原子力発電所で働くことにやりがいを感じていますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	感じている		1,655	30.0
2	まあ感じている		2,960	53.7
3	あまり感じていない		679	12.3
4	感じていない		221	4.0
	集計総数		5,515	100.0

問6-1 やりがいを感じている理由は何ですか。

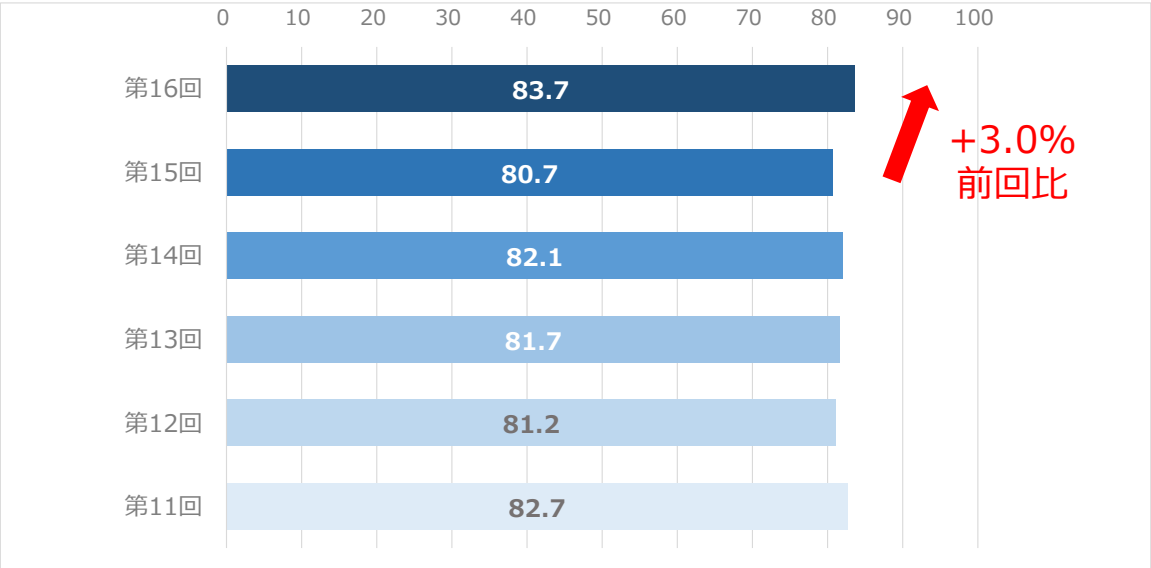
No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	福島の復興、福島第一の廃炉のため(使命感)		2,078	28.3
2	他より賃金が良い		1,409	19.2
3	昔から福島第一で働いている(愛着)		1,244	17.0
4	自分の技術・技能を活かせる		726	9.9
5	達成感が得られる		593	8.1
6	興味がある		536	7.3
7	仕事の進み具合が目に見えてわかる		500	6.8
8	周りの人から感謝される		202	2.8
9	その他		43	0.6
	集計総数		7,331	100.0

問6-2 やりがいを感じていない理由は何ですか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	賃金が良くない		425	33.9
2	廃炉作業の中での自分の仕事の貢献度が分からない		349	27.8
3	自分の技術・技能を活かせない		204	16.3
4	仕事に重要性を感じない		190	15.2
5	その他		86	6.9
	集計総数		1,254	100.0

結果の総括

○83.7%の方々が「やりがいを感じている・まあ感じている」と回答されており、前回アンケート結果(80.7%)よりやや増加しました。



福島第一で働くことにやりがい「感じている」「まあ感じている」の割合

無回答除く

アンケート項目・結果

就労希望についてお尋ねします。

問7 今後も福島第一原子力発電所で働いていただけますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	ぜひ働きたい		1,515	27.7
2	働きたい		2,369	43.2
3	どちらでもない		1,147	20.9
4	どちらかといえば働きたくない		350	6.4
5	働きたくない		96	1.8
	集計総数		5,477	100.0

問7-1 「ぜひ働きたい」「働きたい」と思う理由は何ですか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	作業内容が自分に向いている		1,629	26.4
2	賃金（手当を含む）が高い		1,232	20.0
3	今後やるべき仕事・作業がある		1,080	17.5
4	家族の元から通勤できる		785	12.7
5	作業が体力的・精神的に楽		750	12.2
6	被ばくに不安がない		384	6.2
7	通勤時間が短い		228	3.7
8	その他		74	1.2
	集計総数		6,162	100.0

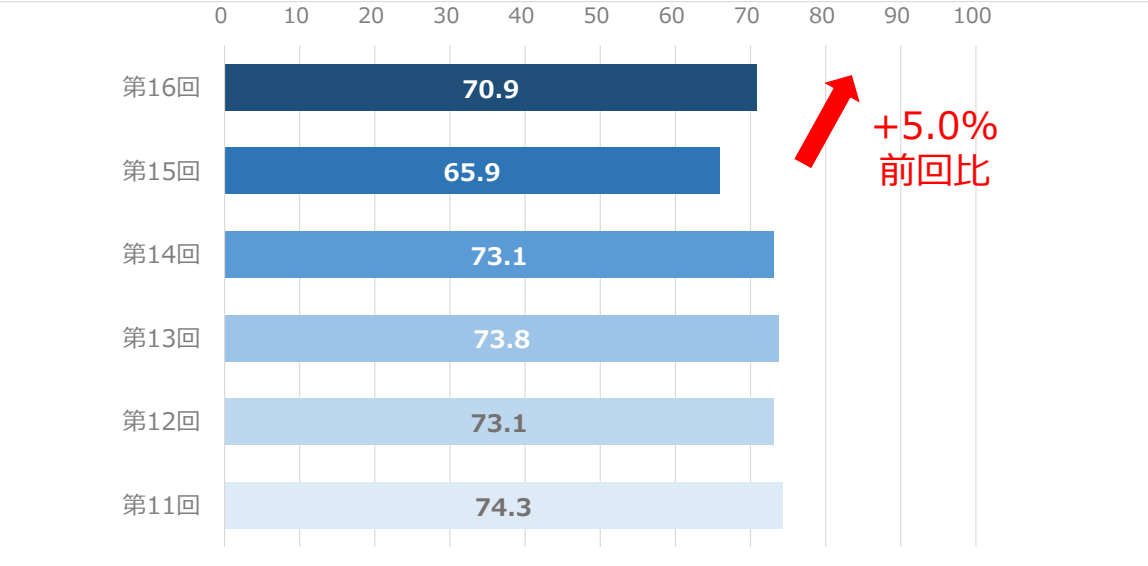
問7-2 「どちらでもない」「どちらかと言えば働きたくない」「働きたくない」と思う理由は何ですか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	作業環境が良くない		169	15.6
2	通勤時間が長い		160	14.7
3	廃炉への貢献度等のわりには賃金（手当を含む）が安い		158	14.5
4	作業が体力的・精神的にきつい		149	13.7
5	被ばくによる健康への影響が不安		133	12.2
6	今後の仕事・作業が見えない		105	9.7
7	作業内容が自分に向いていない		103	9.5
8	単身赴任期間が長い		58	5.3
9	その他		51	4.7
	集計総数		1,086	100.0

結果の総括

○70.9%の方々が福島第一での就労希望に対して「ぜひ働きたい」「働きたい」と回答され、前回(65.9%)よりやや増加しております。

○働きたくない主な理由としては、「作業環境が良くない」「通勤時間が長い」「廃炉への貢献度等のわりには賃金(手当を含む)が安い」「作業が体力的・精神的にきつい」と回答されております。また、働きたい主な理由としては「作業内容が自分に向いている」「賃金（手当を含む）が高い」と回答されております。



今後も福島第一で働いていただけますか「ぜひ働きたい」「働きたい」の割合

無回答除く

＜作業員の皆さまへのお知らせ＞

○廃炉事業は通常の現場以上に福島第一で働く全員が力を合わせ、お互いが「パートナー」として認識し合い、進めなければ成し遂げられない事業です。今後も皆さまに安全で安心に長期間働いていただける職場となるよう、今後も日々変化する現場や環境変化などにも目を向け、労働環境の改善に努めてまいります。

○廃炉全体の向こう10年程度の主要な工程をお示した「廃炉中長期実行プラン」ならびにこれに基づき今後の発注見通しについてとりまとめた「中長期発注見通し」について、今後も機会をとらえ、皆さまにお伝えしてまいります。

アンケート項目・結果

個人線量計(APD)についてお尋ねします。

問8 2024年9月～現在の期間で、個人線量計(APD)の正しくない使い方を構内で見かけたり、正しくない使い方を指示されたりしたことがある場合は、その時期や詳しい内容を書いてください。

回答の結果

○問8で「2024年9月～現在の期間で、個人線量計(APD)の正しくない使い方を構内で見かけたり、正しくない使い方を指示されたりしたことがある」と記載された内容のうち、正しくない使い方をしたおそれがあるものは、以下の1件でした。

【作業員】さま記載内容	【当社からの注意喚起】
APDの前に電話が入っているのを見かけた。	APDの前面にモノを置くと、それが遮へいとなって、正確な被ばく線量を測定できないおそれがあります。APDの前面にはモノを置かないようお願いします。

○日頃よりAPDと受動形個人線量計(ガラスバッジ・ルミネスバッジ等)(以下、「受動形個人線量計」と)との線量データの比較を行っており、至近1年間での不正使用は、確認されておりません。

結果の総括

＜作業員の皆さまへのお知らせ＞

＜APD・受動形個人線量計装着時の注意事項＞

- APDや受動形個人線量計は、表側を外に向けて、男性は胸部、女性は腹部に装着する必要があります。着替え等の際に首から外してしまった結果、装着忘れが過去多発しています。着替え等における被ばく線量を正しく測定するため、APDや受動形個人線量計は、必ず首ひもに掛けて着用し、首ひもは、首から「絶対に」外さないようお願いいたします。また、「セルフチェック」又は「相互チェック」(複数名の場合)で現物確認を確実に実施し、装着状況の確認をお願いいたします。
- 入退域施設の出入管理箇所(APD借用後)で、監視員がAPDや受動形個人線量計を携行していることを確認いたしますので、ご協力をお願いいたします。
- また、ベータ管理対象エリアもしくはRzone(重汚染エリア)においては、手に滞留水が触れる作業を行う場合は、APD・受動形個人線量計に加えて、末端部用受動形個人線量計(ガラスリング・リングバッジ等)の装着が必要となります。
- 今後も、以下の再発防止対策を実施することで、不適切事象の発生防止に努めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。



胸部分が透明なカバーオール

＜主な再発防止対策実施状況＞

- ①【当社】胸部分が透明なカバーオールの導入
(2013年2月25日から継続運用中)
- ②【当社】2019年8月から車両スクリーニング場でのAPDと受動形個人線量計装着状況の確認
(これまでAPDと受動形個人線量計の未装着は見つかっておりません)
- ③【当社】放射線防護教育の継続実施
- ④【当社・協力企業】APD抜き打ち確認
対象範囲を2019年9月より全作業件名に拡大
- ⑤【当社・協力企業】放射線防護のふるまいに関する教育の実施
- ⑥【協力企業】日々のAPDデータの確認
(これまで不正使用は確認されておりません)

アンケート項目・結果

東電社員の態度についてお尋ねします。

問9-1 東電社員の態度をどう感じますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	良い		1,609	29.2
2	まあ良い		2,280	41.3
3	どちらでもない		985	17.8
4	あまり良くない		492	8.9
5	良くない		153	2.8
集計総数			5,519	100.0

問9-2 「良い」「まあ良い」と感じる理由は何ですか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	あいさつ		3,075	44.1
2	丁寧な対応		1,671	24.0
3	安全を最優先にしている		869	12.5
4	現場によく来る		465	6.7
5	身だしなみ		387	5.6
6	なんでも相談できる		270	3.9
7	廃炉に向け一体感を感じる		234	3.4
集計総数			6,971	100.0

問9-3 「あまり良くない」「良くない」と感じる理由は何ですか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	あいさつ		359	22.2
2	高圧的な態度		340	21.0
3	ムリなスケジュールを要求する		244	15.1
4	身だしなみ		188	11.6
5	廃炉に向け一体感を感じない		180	11.1
6	相談しにくい雰囲気がある		155	9.6
7	現場にほとんど来ない		150	9.3
集計総数			1,616	100.0

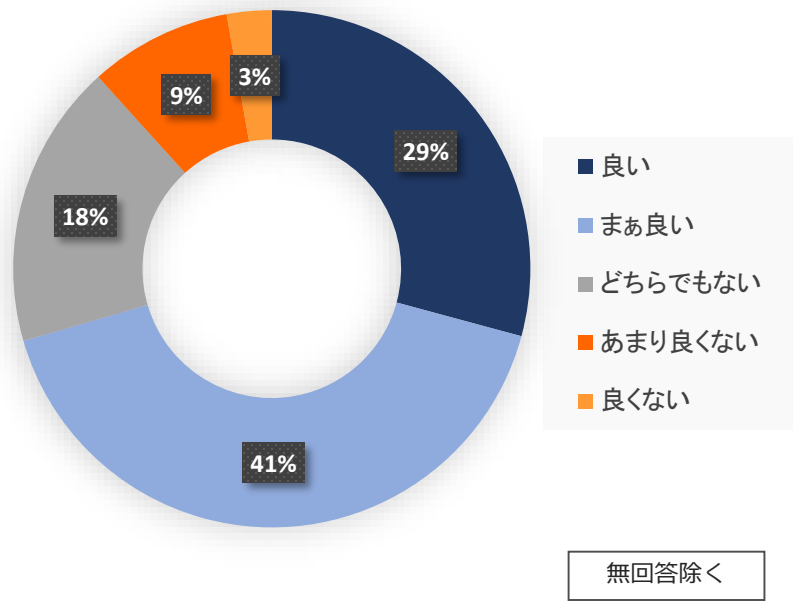
あいさつの実施状況についてお尋ねします。

問9-4 あなたは福島第一原子力発電所において、同じ環境の中で働く皆さまに対し、お互いを尊重し、あいさつをしていますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	あいさつをしている		4,581	93.7
2	あいさつをしていない		308	6.3
集計総数			4,889	100.0

結果の総括

- 29.2%の方々が「良い」、41.3%の方々が「まあ良い」、また17.8%の方々が「どちらでもない」と回答されております。一方で8.9%の方々が「あまり良くない」、2.8%の方々が「良くない」と回答されております。
- 「良いと感じる理由」の多くは、「あいさつ」「丁寧な対応」と回答されております。「良くないと感じる理由」の多くは、「あいさつ」「高圧的な態度」と回答されております。



＜作業員の皆さまへのお知らせ＞

- 「東電社員の態度に対して感じること」では、「挨拶がない」「高圧的な態度」などのご意見をいただいております。
- これまでも挨拶の励行、礼節のある態度、身だしなみなどは、執務を行うに当たっての基本と考え、教育を行っておりますが、皆さまからのご意見を真摯に受け止め、「社外の方々に対してのふるまい」や「自分の言動に対して相手がどう感じるか」など、相手の視点に立って考えることで、自身の行動を見つめ直す機会とするよう、継続して教育を行ってまいります。
- なお、こうした取り組みに関わらず、当社社員と接した際に、社員の態度により不快な思いをされた場合には、当社の企業倫理窓口やエコー等を通じて、ご連絡ください。個別に指導を実施いたします。

アンケート項目・結果

処理水及び廃炉情報等の入手先についてお尋ねします。

問10 あなたは処理水及び廃炉関連等の情報について、どこから入手していますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	テレビ		3,074	28.2
2	所属する企業からの情報		2,289	21.0
3	東電からの情報		2,162	19.8
4	インターネットニュース等		2,130	19.6
5	新聞		791	7.3
6	ラジオ		239	2.2
7	その他		45	0.4
	無回答		162	1.5
	集計総数		10,892	100.0

問10-1 具体的にどこから入手していますか。

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	東京電力ホームページ		1,030	27.9
2	廃炉情報誌		804	21.8
3	構内バス待合所などに設置の電子掲示板		769	20.8
4	東京電力社員		381	10.3
5	新聞広告		303	8.2
6	食堂の卓上パネル		231	6.3
7	東京電力が発信しているSNS		178	4.8
	集計総数		3,696	100.0

結果の総括

<作業員の皆さまへのお知らせ>

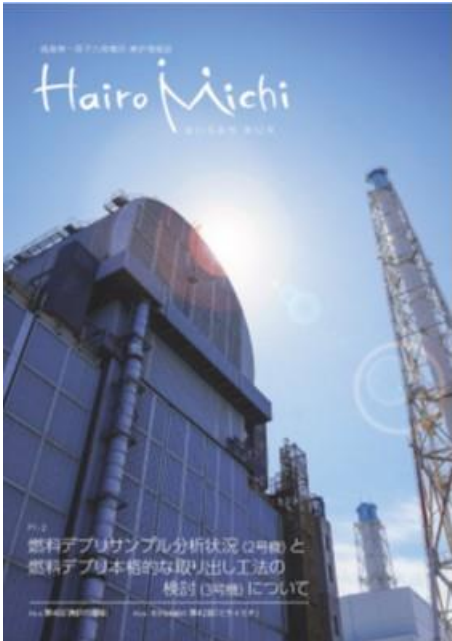
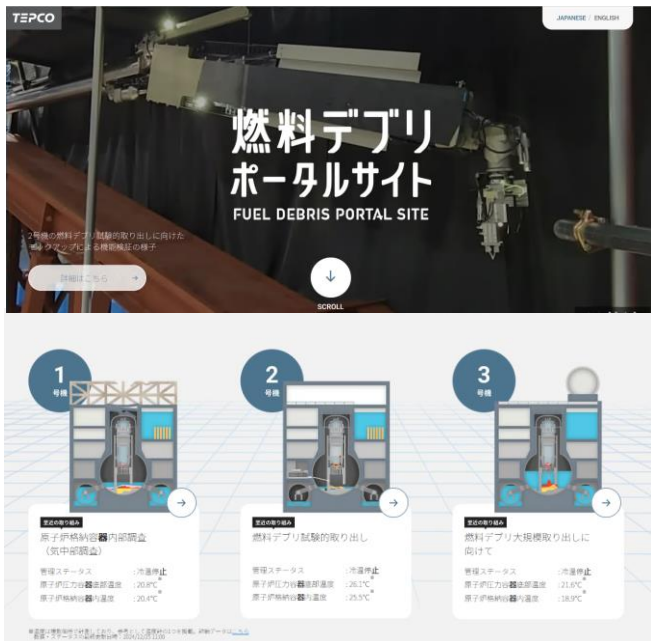
福島第一では、Webサイトや情報誌などを通じて、廃炉の情報をわかりやすくお伝えしています。みなさま、ぜひご覧ください。

○燃料デブリ関連の取り組みをまとめた「**燃料デブリポータルサイト**」を開設しています。このサイトでは、2025年4月までに2回実施した2号機燃料デブリ試験的取り出しの結果や採取したデブリの分析結果、今後の格納容器内部調査などを掲載しています。

○ALPS処理水に関する情報をまとめた「**処理水ポータルサイト**」では、「放出実績」や「海域モニタリング結果」など、様々なデータや情報をご確認いただけます。

○隔月発行の「**はいろみち**」では、廃炉の進捗に加え、廃炉現場に携わる皆さまにスポットを当てた「廃炉の現場」や、若手社員紹介などを通じて、「廃炉に携わる人々の想い」も併せてご紹介しています。

○Webサイト「**1 FOR ALL JAPAN**」では、「バスの時刻表」や「安全情報」「本日の食堂メニュー」など、福島第一で働く皆さまへのお役立ち情報を掲載しています。



燃料デブリ
ポータル



処理水
ポータル



1 FOR ALL
JAPAN



・ 作業員の皆さまからいただいたご要望および当社対応の方向性の概要（1/2）

分類項目	ご要望の概要	ご要望への対応の方向性（概要）
施設環境 関係	作業現場の近くにもAED追加設置希望。（2.5m盤ヤード、コンテナヤード等）	AEDの設置については、以前より休憩所・装備交換所の廃止・新設に合わせて、新たに設置が必要な箇所を選定し、順次設置を進めています。今回ご意見いただいた箇所も含めて、引き続き構内のAEDの適切な配置を進めるよう努めてまいります。
	各休憩所の床等の清掃頻度を増やして欲しい。利用各社で清掃分担の休憩所には清掃用具の配備等を希望。	床の汚れ等で清掃頻度の増加等のご要望をいただいた箇所については、適宜速やかに実態を確認の上、引き続き皆さまが気持ちよくご利用いただけるよう定期的に実施する清掃の適性化等、有効で効果的な対策を検討し適宜実施してまいります。 なお、休憩所各エリアについては、ご利用されている企業さまに清掃を実施していただくこととなっており、お互いに気持ちよく利用可能なよう、利用マナーの遵守や適切な清掃等をお願いします。
	女性用のトイレや更衣室の増設、休憩室の男女区分を希望。	女性用トイレ・更衣室については、以前より増設を実施しておりますが、引き続き順次実現可能な対応を検討・実施していきます。
	構内・構外の道路に段差や陥没箇所があり、タイヤパンク等の危険を感じる。速やかな改善を希望。	埋め戻し後の土砂が散逸し陥没が発生する等でご不安を招き申し訳ありません。各現場を確認し順次必要な対策を講じていくので、お時間をいただき申し訳ございませんが、不安のある箇所ではお気をつけて通行いただく等安全にご留意願います。
	作業エリア、駐車場等の近くにトイレが無いので非常に不便。	発電所構内は管理対象区域であり、トイレを使用する際は身体サーベイが必要などご不便をお掛けして申し訳ございません。装備交換所・休憩所の整備に合わせて、現場でトイレ可能な場所を増設する方向で、極力ご要望に沿うよう進める方向で考えております。
	安全通路等の暗い箇所に照明の設置、を希望。	これまでも照明の無い箇所や少ない箇所への照明追加を実施しておりますが、依然として暗い箇所などは、現場の実態やみなさまのご不便の状況を詳しく把握し、よりの確にご要望にお応えする対策を検討してまいります。
通勤・駐 車場関係	構内・構外で駐車場が不足し、枠外駐車も多発している。駐車場を増設、不稼働車両を移動・廃車して空気を増やす等の対策を希望。	駐車スペースの不足について、以前よりご要望をいただいておりますが、極力増設や不稼働車の撤去などにより拡充に努めてきましたが、未だご不便をお掛けして申し訳ございません。構外の砂利敷きエリアで運用を予定している駐車場の早期の利用開始等、みなさまのご要望に速やかにお答えできるよう、迅速な代替策等含めた効果的かつ実現可能な対策の検討・実施を目指してまいります。
	道路標識が無く設置して欲しい場所、劣化して見えなくなっている箇所を改善してほしい。	以前ご意見をいただいた際、標識設置個所の現地調査を実施の上順次路面への注意表示や標識の設置等を進めてまいりましたが、依然としてご不便をお掛けする箇所があり申し訳ございません。現場毎に必要な対策が異なりますので、いただいたご意見を一つ一つ踏まえて現場の状況を詳しく把握した上、必要な対策を計画・推進してまいります。

＊ 主管G意見踏まえ細部調整して確定

・ 作業員の皆さまからいただいたご要望および当社対応の方向性の概要（2/2）

分類項目	ご要望の概要	ご要望への対応の方向性（概要）
装備・ 備品関係	ハイグリップタイプの作業靴に早く交換して欲しい。	ハイグリップシューズについては、以前、試験的に導入し、好評でしたので、各所で順次入れを進めてまいりましたが、未だ交換が完了しておらず、一部ご不便をお掛けして申し訳ございません。引き続き順次交換を進めますが、入荷に時間を要する場合もございますので、ご理解ください。
	全面マスクの面体の小傷が目立ち、前が見えづらい。	全面マスクの再配備にあたり、点検時は照明の下など明るい場所でチェックすること、廃棄についてはサンプルをもってチェックしておりますが、一部、傷が多いなどのものが配備されているとのこと、大変申し訳ございません。再配備前の点検を確実に実施するよういたします。 なお、「傷が多い」「汚れ」などにお気づきになられた際は、お手数をお掛けしますが、配備場所に戻さず、マスク配備エリアに設置の不良品回収BOXへ入れて頂けますようお願いいたします。
熱中症 対策	各休憩所や各装備交換所に給水器やスポーツドリンク・水ペットボトルの配備を増やして欲しい。	スポーツドリンクや給水可能なバス休憩所について、順次配備を進めてまいりました。未配備で引き続き配備をご要望の箇所があるとのことご意見をいただき、配備スペースの確保や速やかな補充の実現性等の課題の解決について、皆さまのご要望に最大限応えられるよう検討を進めてまいります。配備済の飲料水等をご活用いただき、熱中症予防にお取り組みいただけますようお願いいたします。
	熱中症対策やWBGT値に基づいた管理について、元請任せにせずに東電も声掛けや指導を実施すべき。	熱中症予防の取り組みにおいて、これまでも環境省「熱中症予防サイト」による翌日のWBGT値を元請各社さま等へ毎日発信し（16時頃）、また、構内のサイネージモニター全4か所で最新の気象情報・WBGT値等を現場の皆さまが確認可能なよう表示し、適切な情報の発信に取り組むとともに、休憩所・バス待合所等構内9カ所では熱中症注意喚起ボードでWBGT値を表示、また作業場ごと・時間経過ごとにWBGT値を適宜測定し、作業時間、休憩時間を適切に管理等、元請企業さまと協力して取り組んでおり、引き続き、これら取り組み等により徹底した熱中症予防対策に努めます。
社員の 態度	とても丁寧に対応していただいているが、一部、対応が悪い人もいる。	これまでも挨拶の励行、礼節のある態度、身だしなみなどは、執務を行うに当たっての基本と考え、教育を行っておりますが、皆さまからのご意見を真摯に受け止め、「社外の方々に対してのふるまい」や「自分の言動に対して相手がどう感じるか」など、相手の視点に立って考えることで、自身の行動を見つめ直す機会とするよう、継続して教育を行ってまいります。

＊ 主管G意見踏まえ細部調整して確定

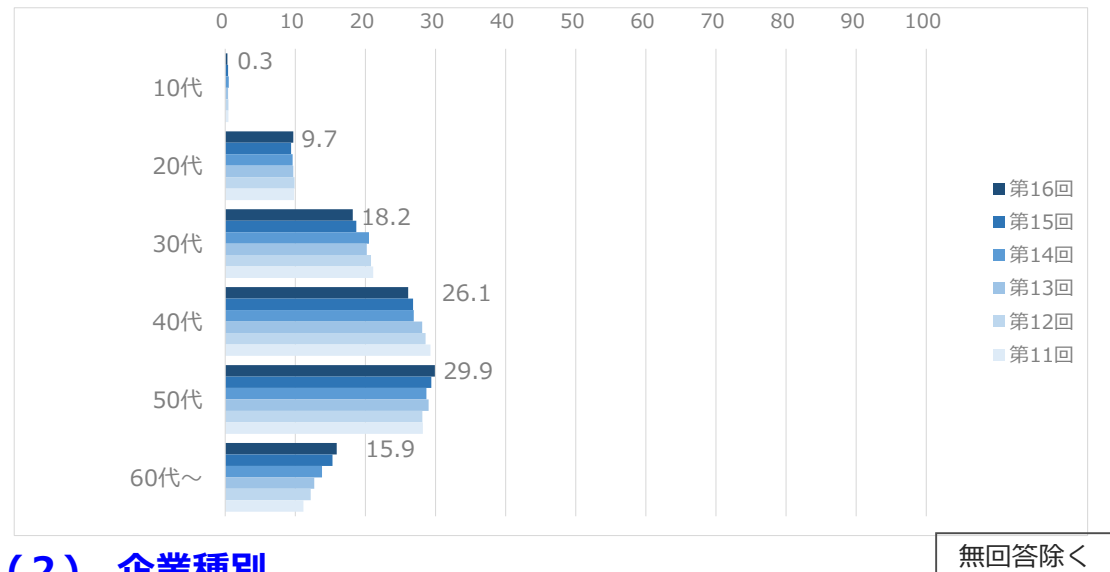
＜作業員の皆さまへのお知らせ＞

- 皆さまからいただいたご意見については、上記抽出した案件以外も含めて全件の内容を真摯に受け止め、担当主管部および事務局が協力して最大限ご要望にお応えできる方策を検討してまいります。対策の実現可否・代替策の検討、計画・実施の状況は、安全衛生推進協議会やイントラネット、デジタルサイネージ等で、適宜お知らせしご報告するよういたします。
- 引き続き、皆さまが安心して作業ができる現場となるよう、労働環境を改善してまいります。

アンケート項目・結果

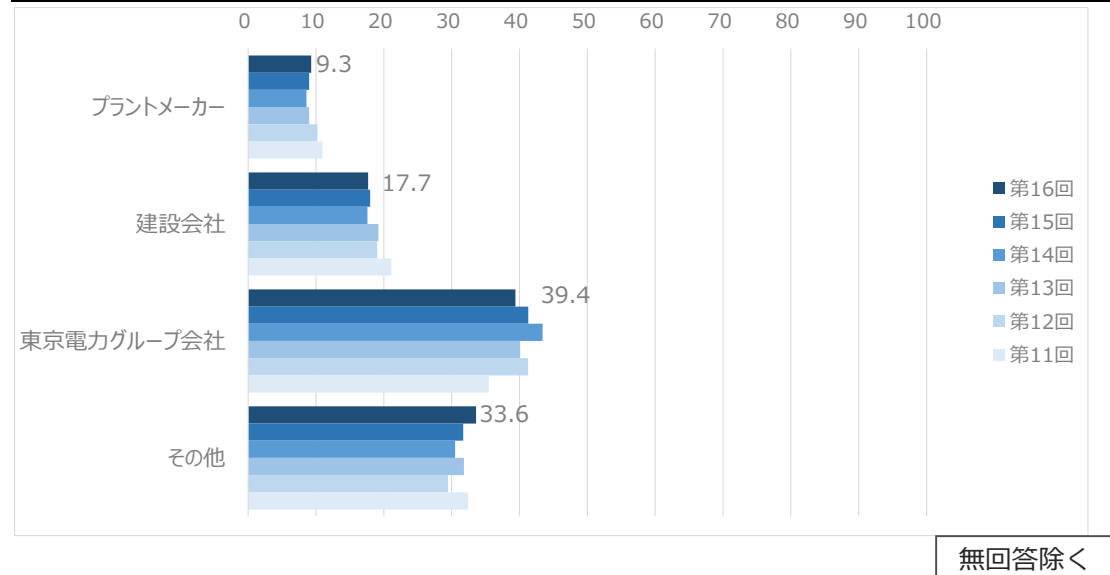
(1) 年齢構成

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	10代		17	0.3
2	20代		540	9.7
3	30代		1,016	18.2
4	40代		1,458	26.1
5	50代		1,670	29.9
6	60代以上		892	15.9
集計総数			5,593	100.0



(2) 企業種別

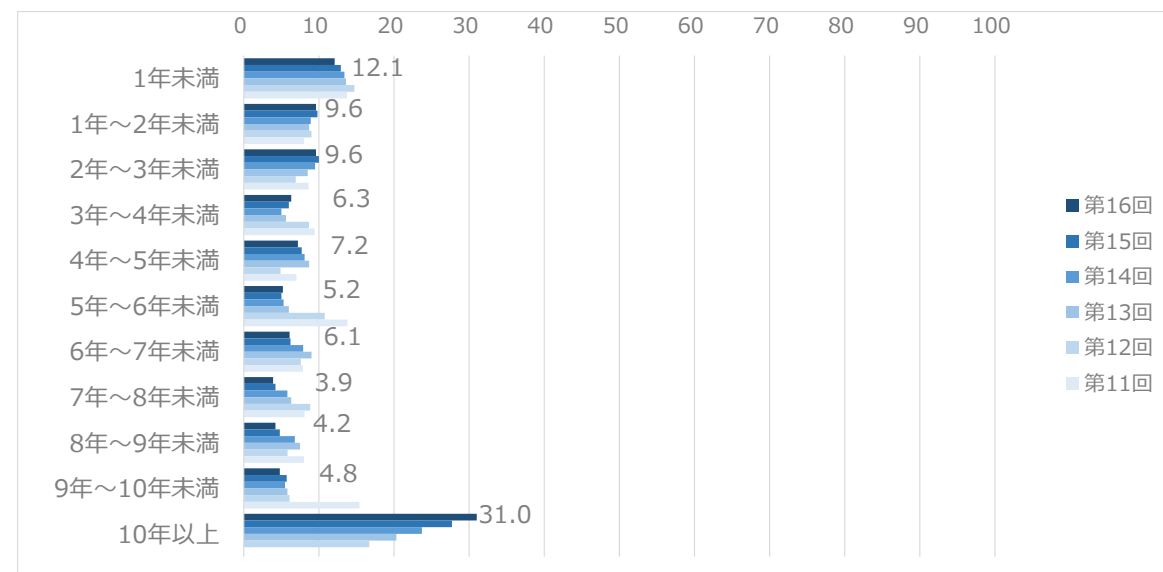
No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	プラントメーカー		519	9.3
2	建設会社		983	17.7
3	東京電力グループ会社		2,186	39.4
4	その他		1,863	33.6
集計総数			5,551	100.0



アンケート項目・結果

(3) 震災以降の福島第一での作業経験年数

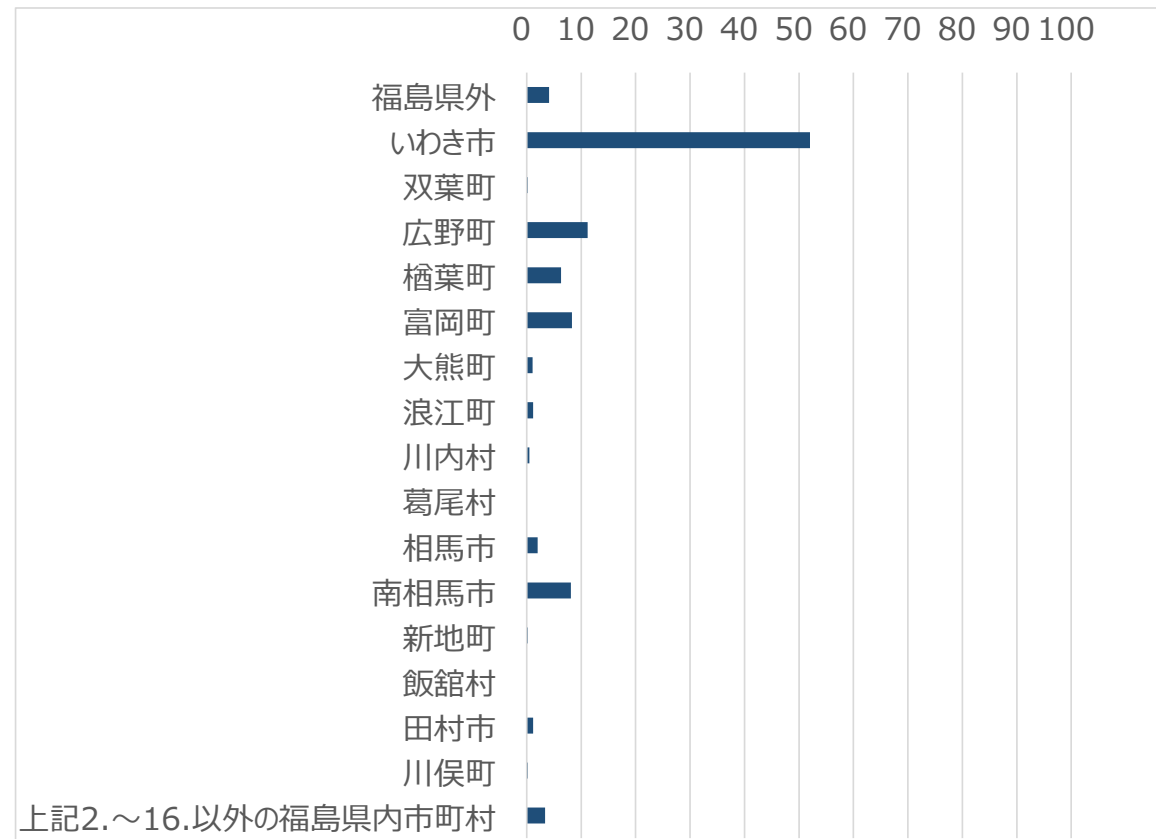
No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	1年未満		671	12.1
2	1年～2年未満		532	9.6
3	2年～3年未満		529	9.6
4	3年～4年未満		346	6.3
5	4年～5年未満		397	7.2
6	5年～6年未満		286	5.2
7	6年～7年未満		336	6.1
8	7年～8年未満		217	3.9
9	8年～9年未満		234	4.2
10	9年～10年未満		264	4.8
11	10年以上		1,714	31.0
集計総数			5,526	100.0



アンケート項目・結果

(7) 居住地（福島県外、いわき市、福島県内の市町村）

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	福島県外		230	4.1
2	いわき市		2,893	52.0
3	双葉町		13	0.2
4	広野町		624	11.2
5	楡葉町		353	6.3
6	富岡町		461	8.3
7	大熊町		60	1.1
8	浪江町		64	1.2
9	川内村		30	0.5
10	葛尾村		1	0.0
11	相馬市		109	2.0
12	南相馬市		448	8.1
13	新地町		10	0.2
14	飯舘村		-	-
15	田村市		64	1.2
16	川俣町		11	0.2
17	上記2.～16.以外の福島県内市町村		189	3.4
	集計総数		5,560	100.0

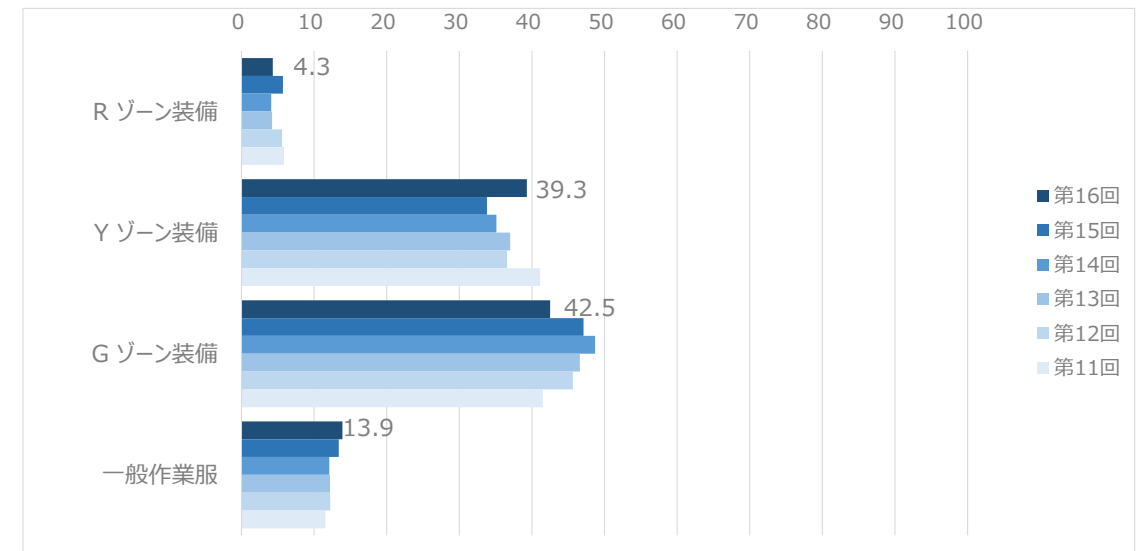


無回答除く

アンケート項目・結果

(8) 作業時の装備

No.	カテゴリー名	【無回答を除く】	n	%
1	カバーオール+アノラック+全面マスク(Rゾーン装備)		239	4.3
2	カバーオール+半面マスクまたは全面マスク (Yゾーン装備)		2,167	39.3
3	一般作業服+DS2マスク (Gゾーン装備)		2,346	42.5
4	一般作業服 (上記の1～3以外)		768	13.9
	集計総数		5,520	100.0



無回答除く

相談窓口について

健康支援相談窓口

■ 行政にご相談したい場合

(原則として、相談内容は当社に通知されません)

- (独)労働者健康安全機構 福島産業保健総合支援センター
東京電力福島第一原子力発電所構内に健康支援相談窓口を
開設し、第一原発で働く全ての方(事業者、作業者等)の健康
相談等を無料で実施しています。

・健康支援相談窓口の概要

設置場所：・東京電力福島第一原子力発電所
(協力企業棟2階健康情報ひろば)
・福島労災病院内サテライトオフィス

設置日程：週1回程度開催

対象者と相談内容：

作業員

健康や放射線に関する相談、生活習慣病の改善でアドバ
イスを受けたい方

事業者(元請業者、関係請負事業者)・衛生管理スタッフ
健康診断結果に基づき専門医からの就業判定、労働者の
健康管理(メンタルヘルスを含む)の相談、健康改善プ
ランの提供、長時間労働者及びストレスチェックに係る
高ストレス者に対する面接指導など

相談対応者：医師、保健師

住所：福島県いわき市内郷綴町沼尻3 福島労災病院内

電話：0120-631-637(フリーダイヤル)

FAX：0246-38-3209

メール：satellite@fukushimas.johas.go.jp

長期的な健康管理に関する相談窓口

■ 当社にご相談したい場合

担当：原子力保健安全センターグループ

電話：XXXXXX (実際に現場に掲示されるものには連絡先が
記載されます)

(受付時間：平日8:40～12:00、13:00～17:20)

作業員の皆さまだけでなく、ご家族の方々も相談して
いただけます。

■ 行政にご相談したい場合

(原則として、相談内容は当社に通知されません)

原則として福島第一原子力発電所における緊急作業に従事
した方々及びそのご家族の方々

- (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
労働者放射線障害防止研究センター 健康相談窓口

電話：0120-808-609

(受付時間：平日9:30～17:00)

メールアドレス：soudan-rad@h.jniosh.johas.go.jp

予約をすれば対面による相談も可能です。

放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究 (NEWS)

- (独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
労働者放射線障害防止研究センター NEWS研究本部

電話：0120-865-618

(受付時間：平日9:00～17:00)

お問合せ:<https://www.news.johas.go.jp/contact/>

疫学研究で実施している健康診断を無料で受けられます。

相談窓口について

就労形態に関する相談窓口

■ [行政にご相談したい場合](#)

(原則として、相談内容は当社に通知されません)

・偽装請負に関するご相談

福島労働局職業安定部 需給調整事業室

電話：024－529－5746 (受付時間：平日 8:30～17:15)

来庁相談も可能

・労働条件に関するご相談

富岡労働基準監督署 富岡総合労働相談コーナー

電話：0240－22－3003 (受付時間：平日 9:00～16:30)

来庁相談も可能

・外国語による労働条件に関するご相談

厚生労働省及び労働局・労働基準監督署では、外国語による労働条件に関する相談ダイヤルや相談コーナー(対面)設けています。

＜外国人労働者向け相談ダイヤル＞ 担当：厚生労働省

言語	開設曜日	開設時間	電話番号
英語	月～金	10:00～15:00 (12:00～13:00は除く)	0570-001-701
ポルトガル語			0570-001-703
スペイン語			0570-001-704

＜労働条件相談ほっとライン＞ 担当：厚生労働省の委託事業

言語	開設曜日	開設時間	電話番号
日本語	月～日 (毎日)	平日 (月～金) (17:00～22:00) 土日・祝日 (9:00～21:00)	0120-811-610
英語			0120-531-401
ポルトガル語	月～土		0120-531-403
スペイン語	木・金・土		0120-531-404

■ [行政にご相談したい場合（続き）](#)

＜外国人労働者相談コーナー＞ 担当：労働局・労働基準監督署
開設曜日、開設時間につきましては、それぞれの連絡先にお問い合わせください。

なお、外国人労働者相談コーナーが設置されていない労働基準監督署においても相談を受け付けていますが、できるだけ通訳できる方とご一緒に訪問されるようお願いします。

都道府県	設置箇所	対応言語	電話番号
茨城	茨城労働局監督課	英語、スペイン語	029-224-6214
栃木	栃木労働局監督課	英語、ポルトガル語	028-634-9115
群馬	太田労働基準監督署	スペイン語、ポルトガル語	0276-45-9920
埼玉	埼玉労働局監督課	英語	048-816-3596
千葉	千葉労働局監督課	英語	043-221-2304
東京	東京労働局外国人特別相談・支援室	英語	03-5361-8728
	新宿労働基準監督署	英語	03-5338-5582
神奈川	神奈川労働局監督課	英語、スペイン語、ポルトガル語	045-211-7351
	厚木労働基準監督署	スペイン語	046-401-1641

■ [当社にご相談したい場合](#)

・賃金割増等に関するご相談

担当：調達部

メール：XXXXXX（実際に現場に掲示されるものには連絡先が記載されます）

相談窓口について

内部被ばく線量修正に関するご相談及び個人線量計の不正使用に関する相談窓口

■ [当社にご相談したい場合](#)

担当：原子力保健安全センターグループ

電話：XXXXXX（実際に現場に掲示されるものには連絡先が記載されます）
（受付時間：平日9:00～17:00）

企業倫理上問題があると判断される相談窓口

■ [弁護士にご相談したい場合](#)

（ご本人が希望される場合を除き、相談内容は当社に通知されません）

担当：鈴木正勇弁護士（濱田法律事務所）

メール：XXXXXX（実際に現場に掲示されるものには連絡先が記載されます）

■ [当社にご相談したい場合](#)

担当：東京電力グループ企業倫理相談窓口

（経営企画ユニット 総務・法務室 企業倫理グループ）

メール：XXXXXX（実際に現場に掲示されるものには連絡先が記載されます）